

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島工業大学高等学校 (仮称) 3号館新築工事	階数	地上4F+塔屋1F
建設地	広島県広島市西区井口五丁目611-2外34筆	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、法22条区域、景観計画重点地区	平均居住人員	579 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年6月8日
敷地面積	54,217 m ²	作成者	臼井 千尋
建築面積	1,273 m ²	確認日	2016年6月8日
延床面積	4,528 m ²	確認者	定森 淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.2		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.5</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 複層ガラスの採用、庇の設置により日射負荷を抑制。/なるべく開口部を取る努力をして、自然通風ができる設計。/高効率空調機器を採用し建物の負荷抑制に配慮。/各部屋にリモコンを設置し、個別制御。/節水型器具の採用、躯体と仕上材が容易に分離可能とすることにより再利用性を高める、等により省資源化を図る。/高効率熱源を採用し、ランニングエネルギーの抑制を図る。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 2.0</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内にある生物資源である緑地を保存。/仮想敷地外にて条例に基づき適切な駐輪場を設置、また、駐車場を設置し交通負荷を抑制。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.1</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 内装材および配管は耐用年数の長いものを採用し、屋外露出ダクトはガルバリウム鋼板製とし、ドレン抜きを設ける。/設備配線・配管は専用のシャフトに集約し、更にシャフトに扉をつけて更新性に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される